

高齢社会における所得税のあり方

— 中長期的視点から —

平成15年4月1日

金子 宏

1. 21世紀の税制

- (1) タックス・ミックス
- (2) 基幹税としての所得税の機能回復
- (3) 空洞化に対する対策

2. 所得税制度の類型

- (1) 総合累進所得税
- (2) 二元的所得税

3. 空洞化の解決

- (1) 構造上の問題（実現原則）
- (2) 所得控除
 - (イ) 人的控除
 - (ロ) 担税力調節控除（雑損控除・医療費控除）
 - (ハ) 社会保険料控除（自己責任と貯蓄的発想）
 - (ニ) 保険奨励控除
 - (ホ) 寄付奨励控除
- (3) 公的年金等控除
- (4) 給与所得控除
- (5) 「人的控除プラス標準控除」への一元化
- (6) 退職所得

4. 国際化と執行体制（情報交換と国際納税者番号）

5. 地方所得税（住民税）

- (1) 税率（累進税率→比例税率）
たとえば10%の比例税率
- (2) 課税最低限（所得税より低くてよい）